


生活習慣病遺伝子ドック

遺伝子レベルで体質をチェックし
個人に合わせた食事・運動のアドバイスをを行います

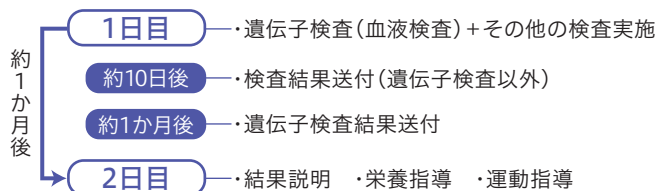
生活習慣病（肥満、動脈硬化、高血圧、高血糖等）に関する遺伝子とその他の血液検査等を組み合わせたコースです。遺伝的なリスクと現在の健康状態から、一人ひとりに合わせた食事や運動のアドバイスをを行います。



遺伝子検査項目

肥満	体内老化	動脈硬化	コレステロール
高血圧	高血糖	血栓	アレルギー
歯周病	骨粗しょう症	関節症	近視
喫煙(副流煙)	アルコール	・検査結果を、強い～平均～弱いレベルで表にあらわします。 ・アルコールはタイプ別評価となります。	

検査スケジュール



- 1日目、2日目ともに来院が必要となります。
- 1日目の検査終了後、2日目の来院日のご予約を承ります。

01 肥満 レベル4 (やや強い)

日本 花子 様の肥満に関する遺伝的リスク度は ● 合計数=3個です。遺伝的には太りやすい体質です。



保有スコア	測定遺伝子	遺伝子の主な働き	遺伝子の日本人保有率	あなたのリスク度
24	β3AR	脂肪を分解させるホルモン(アドレナリン)の働きが弱く、基礎代謝量が150kcal少ない。また、内臓脂肪が蓄積されやすいため、おなかまわりに脂肪がつきやすい。	24%	🍎🍎
14	UCP1	脂肪を燃焼させる働き(UCP1)が弱く、基礎代謝量が50kcal少ない。また、内臓脂肪が蓄積されやすいため、おなかまわりに脂肪がつきやすい。	14%	🍎
24	β2AR	脂肪を分解させるホルモン(アドレナリン)の働きが弱く、基礎代謝量が50kcal少ない。また、皮下脂肪が蓄積されやすいため、下半身に脂肪がつきやすい。	24%	🍎
25	UCP2	脂肪を分解・燃焼させる働き(UCP2)が弱く、内臓脂肪・皮下脂肪が蓄積されやすい。	25%	🍎🍎
3	FTO	食欲に反応するホルモン(グレリン)の分泌が多く、食後の満腹感が得られにくい。また、腸胃ローリーの神経機能が弱く、小児での肥満が見られる。	3%	🍎

現在、太りすぎ(BMI値:25.5)です。皮下脂肪の燃焼は良好ですが、内臓脂肪の燃焼は苦手であり、総合的にみると1日あたり150kcalほど基礎代謝量が少ない体質です。150kcalといっても、遺伝子を保有していない方と比較した場合、1ヶ月間約3日分の食事量に相当します。あなたの目標体重(55.0kg)を維持するための適正カロリーは、1日あたり1640kcalです。

●現在、定期的な運動習慣がないため、運動不足や食べ過ぎも現在の体型に影響していると考えられます。

遺伝子から推奨される生活習慣

栄養素	カフェイン	L-カルニチン	ビタミンB1	コエンザイムQ10
	低GI食品	アミノ酸		
ライフスタイル	ダイエット	有酸素運動	睡眠リセット	糖化防止

※結果表サンプル(肥満)

〈その他の検査項目〉

- | | | |
|-----|--------|-------|
| ■問診 | ■安静心電図 | ■腹部CT |
| ■診察 | ■負荷心電図 | ■結果説明 |
| ■計測 | ■四肢血圧 | ■栄養相談 |
| ■採血 | ■尿検査 | ■運動相談 |

料 金

生活習慣病遺伝子ドック

80,000円(+消費税)